

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市立喜志駅地下自転車駐車場	施設所管課	道路交通課
指定管理者名	センターパーキング富田林		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 27 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	a
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b	b
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	b	b
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	b	b
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	b	b
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	b
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	a	a
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	a	a

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	対応及び評価
ア	全管理員を対象に、法令遵守などの重要事項を周知する取り組みを行ってください。なお、各種研修時には各個人の内容の理解度も意識してください。 法令遵守に関しては、1. 金銭の取扱 2. セクシュアル・ハラスメントの禁止 3. 個人情報の漏洩禁止を重点に、リーダー研修等の機会に、全ての管理員への周知を行っており改善がみられる。ただし、理解度を図る方法等については、検討課題である。
イ	市広報等の既存媒体に加え、利用促進につながる新たな取り組みを検討してください。 次年度からの新たな取り組みとして、企業や学校、自治会等に働きかけを行う予定である。また、道路交通課と指定管理者とで協議し、他施設との連携を深めるなどの取り組みについても、今後検討していきたい。
ウ	

⑤評価者コメント

人口減少等により、鉄道等の公共交通利用者が減少している中、駐輪場の利用者は若干であるが、増加させることができた。支出面において、電力会社の値上げが行われる中、電灯設備に関して昨年度からLED化に順次取り組んでおり、間接的な環境保護と経費の節減を図ろうとされていた。また、施設の老朽化にもかかわらず修繕費を低く抑えることができ、支出が減少した結果、黒字となり市への還付金を確保された。場内工事の際に管理員を増員して利用者の安全確保に努めるなど、柔軟な対応で業務を行った。今後、利用者の減少が見込まれるので、その対策として、市との調整会議中でも議題となっており、対策を検討中である。

【千円】

【参考】	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	0	0	0	0	0	0
利用料金	18,412	18,756	18,583	17,951	18,664	18,376

【人】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	9,420	10,939	10,867	10,596	10,882	11,130

【%】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	—	77.4	—	74.4	—	74.9

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市農業公園	施設所管課	農業振興課
指定管理者名	富田林市南地区協同組合		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 27 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	c
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	b	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	b	b
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

改善要求点	対応及び評価
ア 職業倫理やモラル等を含め、コンプライアンスを遵守する職場環境の確立及び労務管理体制の充実を図ってください。	平成27年8月1日にコンプライアンス規程を改定し、同月11,12,14日に改定した規程の研修を全職員を対象に実施した。また、欠員であった総務係長の発令を行うなど、労務管理体制の充実を図っており、必要な対応を行っているとは評価している。
イ 各種研修の内容ごとに実施時期を検討するとともに、業務に沿った研修等の充実を図ってください。また出来るだけ早期に、コンプライアンスの徹底・労災事故予防を内容とした職員研修を実施してください。	研修実施時期の再検討を行ったが、繁忙期を避けた時期に設定すると年度後半となる。平成28年2月19~24日に、全職員を対象にした「コンプライアンス及び労働安全をテーマにした研修を行っており、必要な対応を行っているとは評価している。
ウ 備品台帳に記載された管理物品の現状を再確認し、その結果を報告してください。今後も市の備品と指定管理者の備品とを明確に区分のうえ管理し、定期的に備品台帳との突合結果を報告してください。	平成28年2月末を目処に備品台帳との突合を行い、破損等で使用できない備品の廃棄処理を行った。事業報告書にも備品の管理状況の報告を求め、担当課が状況を確認しており、必要な対応を行っているとは評価している。

⑤評価者コメント

収穫体験の前倒し、持ち込みバーベキュー場の開設や遊具の増設、6次産業化の一環としてサバーファームワイン販売などに取り組みました。前年度比較で、有料入園者数(81,342人・1,726人減)、利用料金収入(42,267,300円・530,100円減)と若干下回りましたが、利用料金収入は当初提案を上回って推移しています。
また、地域の関係団体との連携、ドリームフェスティバル・きらめきファクトリー・市農業祭や朝市への出店販売、観光協会行事への参画、東条地区農空間保全協議会のイベント協力など、農業公園が地域の活性化に大きな役割を果たしていると考えます。

【参考】	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	96,804	96,015	97,776	97,612	97,776	97,776
利用料金	41,500	34,884	40,000	42,797	40,600	42,267

【人】	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用者数	88,000	74,932	85,000	83,068	86,000

【%】	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用率	—	1.0	6.6	6.7	7.5

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市立総合福祉会館	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 27 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	b	b
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	b	b
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	b	b
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。		
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	d	d
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

改善要求点	対応及び評価
ア 朝礼や定例会などで法令遵守等について、職員に伝えていただいているが、「法令遵守」をテーマにした研修を行って下さい。また、非常勤職員を含む全ての職員が研修に積極的に参加できる体制づくりを行って下さい。	平成28年2月に契約しているコンサルタントと協議し、職員全員を対象としたコンプライアンス研修を行っており、改善がみられる。
イ 利用者向上策の年度計画の内容は充足しているが、利用者数が減少しているため、利用者ニーズを意識した向上策を検討して下さい。	平成27年度より富田林市老人クラブ連合会の発行する広報誌に社協施設の紹介を掲載、また昨年度同様に関係団体へ送付分を送る際、施設紹介のチラシを封入した。結果として、福祉会館全体の利用者は増加したが、風呂の利用者は昨年に引き続き減少した。風呂の利用者数増加のため地域福祉課と社会福祉協議会で今後協議を重ねていく予定である。
ウ	

⑤評価者コメント

今年度の利用者数は増加したが、浴場利用者数は引き続き減少している。新たに取り組んだPRが効果がなかったため、PR方法の検討が必要である。また、利用者の車の利用率が増えており駐車場が足りなくなっているため、改善策を検討する。

【千円】

【参考】	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	48,735	48,735	49,498	49,498	49,589	49,589
利用料金	1,976	1,584	1,800	1,531	1,850	1,370

【人】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	57,132	58,318	105,072	103,779	105,912	105,674

※26年度より、フリースペースの人数もカウントしています。

【%】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	—	—	—	45.1	51.2	49.7

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市立コミュニティセンター	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 27 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	c	c
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

改善要求点	対応及び評価
ア 朝礼や定例会などで法令遵守等について、職員に伝えていただいているが、「法令遵守」をテーマにした研修を行って下さい。また、非常勤職員を含む全ての職員が研修に積極的に参加できる体制づくりを行って下さい。	平成28年2月に契約しているコンサルタントと協議し、職員全員を対象としたコンプライアンス研修を行っており、改善がみられる。
イ 利用者数は増加しているが、まだ利用率が5割に満たない。さらに利用者数を増やすために、イベントに来た参加者をどう次の施設利用に繋げていくか等の新たな戦略を図って下さい。	平成28年度よりセンター利用者代表組織である「利用者連絡協議会」からの提言やアンケート調査を元に来館者のニーズを具体的に検証し、それに基づく新たな取組や事業展開を実施する。利用率の低い貸室、フリースペースをどう生かしていくか等、地域福祉課と協議予定。
ウ 利用者拡大のために独自の広報誌を発行する等、広報・PR活動を行っているが利用者が一部の地区に偏っていることから、その実施効果を測定の上、対応を図って下さい。	アンケート調査実施の際、検証の基礎となる項目(H27年度かがりの郷広報誌の周知状況を確認する項目)を追加し、さらに詳しい分析を行い、利用者数の少ない地域への広報誌の配布先を検討する等により効果的なPR活動に繋げていく。

⑤評価者コメント

子育て支援「ほっとひろば」の利用者が増加してきたこともあり、利用者若い世代が増えてきた。世代間交流施設として、第一に幅広い世代の人に利用してもらうことが必要のため良い傾向と思われる。利用者間の交流については、今後利用者連絡協議会だけに任せるのではなく、指定管理者と地域福祉課で協議する予定。

【千円】

【参考】	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	39,711	39,711	40,864	40,864	41,021	41,021
利用料金	6,934	5,317	5,206	5,206	5,401	4,852

【人】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	54,840	66,217	64,812	66,909	65,484	67,223

【%】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	—	—	—	42.4	43	43.1

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市立じないまち交流館	施設所管課	文化財課
指定管理者名	富田林寺内町をまもり・そだてる会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 27 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	b	b
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	a	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	b
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	a	a
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	a	a
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》		
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	a	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	a	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	緊急時のマニュアル等は整備されており、職員にも周知はされているが、実地訓練は行われていなかったため、適宜、実地訓練等を行って下さい。	緊急時のマニュアル等は整備されており、職員にも配布・説明されている。また、今年度は、実地訓練を含む危機管理と日常の安全管理の研修を複数回実施されており、AED実機による使用訓練も行われており、要求点については改善されている。
イ	外部受託関係業務について、手続き、契約など、仕様書上の問題はなかったが、点検・評価等の記録がなされていなかったため、業務検査を実施し、点検・評価等の記録を行って下さい。	業務内容の点検・評価を実施し、記録も行われており、要求点については改善されている。
ウ	コンプライアンスについては、関係法令の周知に留めることなく、他の研修同様、具体的な事例を用い、内容の理解についても意識した取り組みを行って下さい。	日常的な事例に合せた使用許可基準(運用)マニュアルを作成しそれに則った運営がなされており、要求点については改善されている。

⑤評価者コメント

事業計画を概ね充足した内容の施設運営が実施されている。特に指定管理者で作成している近隣の駐車場情報やお店の情報などを記載した富田林寺内町の周辺マップが好評で、利用者数の向上や利用者サービスの向上に寄与しており、自主事業への積極的な取組や、地域のイベントなどへの積極的な取組の成果もあり、年間の施設入館者数は目標を上回る結果となっている。収支面においては、指定管理当初から引き続き、必要最低限の賃金で施設の管理にあたっており、適正な施設管理、安定的なサービス供給を維持しつつ、コスト削減にも積極的に取り組まれている。また、初年度評価における運営改善を要求した項目についても、適切に対応され改善されている。

【参考】	【千円】					
	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	4,673	4,673	4,642	4,642	5,105	5,105
利用料金	—	—	—	—	—	—

【人】	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用者数	29,000	31,493	24,600	34,061	31,500

【%】	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用率	—	—	—	24.1	—

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市立総合スポーツ公園	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	株式会社オーエンス		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 27 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	d	d
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	b	c
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	a	c
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	a	a
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	a	a
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	a	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	項目5に関し、法令遵守体制のみならず、職業倫理やモラル等も含めたコンプライアンス浸透のための研修の充実を図って頂きたい。	改善計画書に従い、研修回数を年2回から6回に増やした上で、研修内容も職業倫理・モラルを含めた内容としており、評価できる。
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

今後の運営に向けた利用者数・利用率のより正確な把握のための計算又はカウント方法の見直しにより報告上の数字は下降している。しかしながら、昨年度の経験を踏まえ、より一層の自主事業の拡充および利用者サービスに努めており、アンケート結果では利用者満足度が向上するなど実質は良好な運営がなされていると評価できる。天候・減免利用などの事情はあるが、2年連続で収入が提案額を超えておらず、その点が来年度以降の課題として考えられる。

【参考】	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	42,908	42,908	43,381	43,254	41,050	41,050
利用料金	17,700	16,984	17,900	16,848	17,900	16,799

【人】	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用者数	目標設定なし	96,846	目標設定なし	96,200	目標設定なし

【%】	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用率	目標設定なし	42.7	目標設定なし	43.4	目標設定なし

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市市民会館	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	アクティオ株式会社		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 27 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b	b
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	c
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	c	c
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	c	c
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a	a
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	a
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	自主事業、各種講座の定員充足率を向上させるため、PR活動の強化など各種の取り組みを進めるとともに、施設の定期利用へ繋げるための方策について検討されたい。	(対応策)より集客につながるよう、ブログ、facebookの更新頻度を上げ、より新しい講座情報を提供した。また、夏に若者向けのイベントを開催し、新しい利用者層を開拓に努めた。 (評価)各種取り組みを行い、新しい利用者層を開拓できたことは評価するが、利用者増につながっていないため、さらなる創意、工夫が必要と考える。
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

市民会館敷地内の不要物などの廃棄・撤去を行い、会館の美化・衛生改善・放火等の未然防止に努めるとともに、駐車場の通行道路を広くするなど、事故防止・安全対策に積極的に取り組んだ。また、自主事業についても、地域ニーズを把握しながら、新規イベントの実施など、内容の充実に努めた。しかし、これらの取り組みにも拘わらず、利用者数は増加していないため、さらなる、創意、工夫が必要と考える。

【参考】	【千円】					
	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	56,351	56,351	56,657	56,555	55,522	55,522
利用料金	19,120	17,981	20,000	18,821	20,300	17,384

【参考】	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	115,342	106,260	117,240	115,122	108,925	113,520

【参考】	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	—	70.9	—	75.5	75.0	68.1

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	すばるホール	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	公益財団法人富田林市文化振興事業団		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 27 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	a
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	c
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	c	c
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	b	b
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	a	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	a	a
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

改善要求点	対応及び評価
ア 管理運営の基本方針について、事業団の理念だけでなく運営についての基本方針を提示されたい	(対応策)平成28年度事業計画書よりすばるホールの理念及び基本方針を明確に提示し、「地域とともに歩む」を理念としたさらなる市民サービスの向上や、より多くの市民の皆さんが参加できる事業の取り組み及び積極的な事業運営に努める。 (評価)対応策が実現されるよう、推移を見守る。
イ コンプライアンスについて、公益通報制度の設置及び職員への周知を図るとともに監査制度についても検討されたい。	(対応策)倫理規程の整備を図るとともに、公益通報制度の設置及び関係規程の制定を行います。また、監査制度につきましては、監事の決算監査を受けていますが、平成28年度からは監査委員1名を追加し、年数回の定期検査の実施により適正な監査が行えるよう努める。 (評価)対応策が実現されるよう、推移を見守る。
ウ 各種収入、支出について、複数人によるチェック体制の確立など、金銭の管理体制を明確にされたい。	(対応策)複数人による出納チェックはもとより、平成28年1月より、銀行印を理事長、通帳を事務局長が厳重に管理し、さらなる会計上の管理体制の強化に努めた。 (評価)対応策の実施を確認。対応策は有効と考える。

⑤評価者コメント

文化芸術の発展を図るため、一流のアーティストや演劇公演を招聘。多彩な芸術文化事業を提供するとともに、市民参加事業の制作・上演や市内全小学校を対象とする音楽アウトリーチ事業、若手演奏家・実演家の育成・支援を目的としたイブニングコンサートやOsaka Shion Wind Orchestraとのパートナーシップ協定記念事業での小学校招待公演の提供など、次代を担う子どもたちの育成に力を入れた事業も展開した。これらにより、事業団の積極的かつ多彩な文化事業の展開は一定認められるが、すばるホールは、施設規模が大きく、多大の管理運営経費を要するため、収支の大幅な改善等、今後ともより一層の効率的な運営が求められる。

【参考】	【千円】					
	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	266,000	257,652	241,984	241,855	243,731	242,987
利用料金	53,500	59,502	57,200	56,470	57,500	58,330

【参考】	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	255,000	237,694	255,000	217,258	255,000	214,656

【参考】	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	—	68.8	—	67.4	62.5	65.1

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市ケアセンター	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	一般財団法人 富田林市福祉公社		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 27 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	b	b
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	a
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	c	c
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	c	c
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	利用者数は増加しているが、自主事業の実施効果が見えにくいので、アンケート等を行うなど利用促進効果を図る取り組みを行って下さい。	平成28年度の事業を実施する際にアンケート等の実施について取り組む予定。事業効果がわかる有効なものとするために検討中。
イ	利用者の苦情・要望について、全て報告するようにして下さい。また、その解決までの流れも報告して下さい。	基本協定に規程する報告書の中の苦情・その他の報告事項において、「健康づくり・世代間交流施設」「介護老人保健施設」に分け報告が行われている。また、解決までの流れも報告があり、改善がなされた。
ウ	各部署に必要な人材、スキル等を明らかにした上で、今後の人材育成方針を示して下さい。また、非常勤職員を含む全ての職員が業務に必要な研修に積極的に参加できる体制づくりを行って下さい。	介護老人保健施設の運営、世代間交流施設の運営の他地域包括支援事業、居宅介護支援事業、訪問介護事業の実施等多様な事業を実施していることから、医師、看護師、介護福祉士、介護支援専門員、理学療法士・作業療法士、栄養士、薬剤師、支援相談員、訪問介護員、事務職員等多様な職員が必要であり、それぞれの業務に必要な技能や知識の向上を図るため、現在も可能な限り研修等に参加しているが、今後さらに各職員が積極的に研修に参加できるよう検討中。

⑤評価者コメント

健康づくり施設は、プールの床改修による1ヵ月間の利用停止をしたため利用者数が減少したが、老健施設については昨年度から引き続き利用者数が増加し、利用料収入も増加している。年度計画に比べ光熱水費の単価引き下げや、修繕費の減少等により支出が減少しており、安定経営を行っていることを評価します。

【千円】

[参考]	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	127,427	127,427	137,923	137,923	137,224	137,224
利用料金	423,939	430,363	449,218	450,926	474,474	463,480

【人】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	142,602	165,191	142,602	165,760	151,944	162,625

【%】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	—	—	—	29.88	35	31.11

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林病院	施設所管課	健康づくり推進課
指定管理者名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 27 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(事業計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 医療廃棄物等において環境への配慮がなされている。	a	a
	3 施設利用における公平性(経済的・疾病的・年齢)が確保されている。	a	a
	4 自治体・地域医療機関等との意見交換や連携が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	8 利用者への情報提供が適時かつ適切に行われている。(医療法による広告可能な範囲)	a	a
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	a	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
	12 南河内圏域救急医療体制の協力病院として救急医療の提供が適切になされている。	a	a
社会貢献事業	13 市と連携・協力しながら、政策的医療の提供など、公的病院としての役割を果たしている。	a	a
	14 社会貢献事業の内容が、施設の利用を促進し、また施設目的の達成に寄与している。	a	a
収支計画	15 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》		
	16 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》		
人員配置計画	17 提案に基づき、安定した医療提供のための人員配置・勤務体制となっている。	b	b
	18 障害者雇用促進法を遵守している。	a	a
人材育成についての考え方及び研修計画	19 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	a	a
	20 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	a
危機管理策	21 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a

		自己	担当課
日常の安全管理	22 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a	a
	23 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	b
その他	24 医療用機器を含む備品を適切に管理している。	a	b
	25 外部受託者の業務の点検・評価が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	苦情・要望の内容を精査の上、適宜、全職員を対象とした、接遇力向上に向けた取り組みを行ってください。なお、研修等の実施にあたっては、職員の理解度を意識してください。	全職員を対象とした接遇マナー研修を実施するとともに、院外で行われる苦情処理研修に、事務及び看護師から選抜された者を受講させており、改善の努力がみられる。今後、理解度を図る方法を検討中である。
イ	委託業務について、問題があれば改善指導等を行っているが、業務に適切に反映されていないものが見受けられるため、適宜、指導等を行い、改善されているか確認を行ってください。	適宜指導を行い確認しているが、声の箱を見る限りでは、いまだに苦情の投書が見受けられ、更なる改善の努力が必要である。
ウ		

⑤評価者コメント

内科系を中心に医師が不足しているにもかかわらず、患者数を増やすなど努力の跡がみられる。また、職員には日常的に研修を行い研鑽に努めている。富田林病院は、南河内医療圏の中核的病院であり、救急や小児急病診療を行うなど市民の安心・安全を支える病院である。平成27年度には、本市と近畿大学医学部、大阪府済生会との三者による医療機能連携協定が締結され、本年4月に、院長を含め5名の内科医が近大医学部から派遣され医師の確保がなされた。今後も、市民の健康と安心・安全のため、職員がレベルアップできるような体制作りを進める必要がある。

【千円】

【参考】	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入合計						
支出合計						

【人】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
入院患者数	72,270	64,011	70,445	63,295	71,558	64,506
外来患者数	186,865	178,865	186,500	184,702	187,000	190,296

【%】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
病床利用率	78.9	69.9	76.9	69.1	77.9	70.2